



# 岩五だより



江戸川区立小岩第五中学校  
令和7年度 学校だより  
～ 11月号 ～  
令和7年11月11日発行

## 「笑顔満祭 ～心をついに～ 文化祭」 校長 前本 大智

やっと秋が深まり始めました。涼しく感じることや、キンモクセイの香りを感じ、木々の色の変化に気づくことが増えてきました。皆様、お変わりなくお過ごしのことと存じます。

さる10月25日(土)には、本校体育館で無事に令和7年度文化祭を開催することができました。事前申請や優先席の入れ替え等にご協力してくださり、多くの皆様にご来校いただきました。スムーズに生徒の活躍する姿を見ていただけて、教職員一同大変嬉しく感じています。

さて、今回の文化祭におけるテーマは、生徒の発案によって「笑顔満祭～心をついに～」でした。みんなが笑顔にあふれ、心をついにできる文化祭にしたいという強い思いが込められました。なかなか日常生活では、味わえない特別な行事で、五中として団結したいという発案者の心情を感じました。

ここで少し文化祭を振り返ってみようと思います。午前中の合唱コンクールで各学年の課題曲について話します。1年生の「My Own Road」では、クラスの人数が少ないにも関わらず、聴いている人がこの生徒たちの未来への希望や成長を願い、応援したくなる歌声でした。2年生の「Let's search for Tomorrow」は、明るい明日をつくっていかうとする2年生の意気込みを感じる歌でした。明日の自分を探すために、この広い世界に旅立ち、限りない希望と夢を表現してくれました。3年生の「明日のために」は、最上級生らしい決意が込められた合唱でした。日々の忙しさで、周囲から受けた優しさや自分の頑張ってきたことを忘れることなく、前を向いて未来へ進み、自分にとってのハードルを一つひとつ乗り越えていって欲しいと強く感じました。中学生の合唱は、人々を感動させる何かの力(パワー)を宿していると改めて実感し、小岩五中生のもつ秘めたる底力と感性を受け取ることができました。

午後は、舞台発表でした。6組生徒による演奏とダンスから始まりました。大人の手を借りずに、6組の生徒たちだけで楽しそうに演奏やダンスをする姿を見て、会場は手拍子や大きな拍手に包まれました。ここまで来るのに、随分苦勞と努力があったことが、わかります。それぞれの役割を理解して、一体感のある素晴らしい演奏とダンスとなりました。次に、生徒会による「SDGsについて」(持続可能な開発目標)の発表でした。学校ドラマ風のセンスのよい映像と展開で、現代社会に生きる私たちみんなに分かりやすく伝えてくれました。生徒会のメンバーの伝え方の工夫と技術がとてもよかったと思います。

次に、この文化祭では学校代表の生徒が、「言葉が未来をつくる」について堂々と述べることができました。そして、11月1日の区の弁論大会に出場し堂々と発表することができました。最後は、会場を盛り上げてくれた吹奏楽部の演奏です。小編成での演奏は苦勞があったことと思いますが、6名の教職員も加わって調和のある思い出に残る演奏を披露してくれました。

この素晴らしい行事で見てくれた、全ての生徒の皆さんの未来が、テーマである「笑顔満祭」のように、明るく笑顔で大きく拓いていけることを願わずにはいられません。そのためにも、行事だけで終わらせることなく、普段の小岩五中での生活に、気持ちも新たにしっかりと一緒に取り組んでいきたいと我々教職員は、常々思っています。またこれから、みんなで、一緒に成長していきましょう。

最後に、落ち着いた環境で、生徒一人ひとりのしっかりとした活躍や活動を見ることができる文化祭を行うことができましたことを、保護者の皆様方、地域の皆様方にお礼申し上げます。そして、この文化祭を行うために携わってくれた本校生徒の皆さん、そして教職員の皆さんの多大なる努力に感謝いたします。本当にありがとうございました。